

ESD for 2030学び合い プロジェクト（関東）

「自然体験を通じて、生活に関わるSDGsを学ぶ」 第1回 キックオフ



令和3年7月26日



関東地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development



関東地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

本日の流れ

18:00	ESD for 2030学び合いプロジェクト の概要
18:15	食品ロスと生ごみ削減・有効利用～私たちにできること～ NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長 鬼沢良子氏
18:35	自然学校で実施しているSDGs学習プログラム NPO法人 チャウス 理事長 加藤正幸氏
18:55	参加者の方との感想・意見交換
19:15	今後の展開について



関東地方ESD活動支援センター

Education for Sustainable Development

【概要】

名称：関東地方ESD活動支援センター

略称：関東ESDセンター

英語名：ESD Resource Center of Kanto, Japan

開設日：平成29年7月3日（月）

連絡先：〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B1F

T E L : 03-6427-7975 **F A X :** 03-6427-7976

U R L : <http://kanto.esdcenter.jp/>

E-mail : kanto@kanto-esdcenter.jp

設置者：



環境省

Ministry of the Environment



文部科学省



【関東ESDセンターの役割】

- ① ESD活動を支援する
情報共有機能
- ② 現場のニーズを反映した
ESD活動の 支援機能
- ③ ESD活動のネットワークの
形成機能
- ④ 人材育成機能

【関東ESDセンター今年度の主要事業】

- ・ESD実践・推進にかかる相談/支援
- ・ウェブサイト、メールマガジン等による情報発信
- ・地域におけるESD推進の課題・ニーズの把握
- ・関東地方ESD推進ネットワーク・フォーラムの開催
- ・地域ESD拠点の形成・ネットワークの構築
- ・地域ESD拠点間、ESD実践者の学び合いの場づくり

【Webサイト】

<http://kanto.esdcenter.jp/>



ESDとは？

ESD (**E**ducation for **S**ustainable **D**evelopment)

持続可能な開発のための教育

地球規模の課題を**自分事として捉え**、
その解決に向けて**自ら行動を起こす力**を
身に付けるための教育です。

「持続可能な開発のための教育(ESD) 推進の手引」より
文部科学省国際統括官付/日本ユネスコ国内委員会

ESD for 2030とは？



「持続可能な開発のための教育:SDGs 実現に向けて」

ESD for 2030は、2019年11月のユネスコ総会で採択され、国連総会で承認されました。ESD for 2030は、ESDの強化とSDGsの17の全ての目標実現への貢献を通じて、より公正で持続可能な世界の構築を目指すものです。



SDGs目標を達成するための
人材育成

ESD for 2030学び合いプロジェクトとは

＜プロジェクトの目的＞

特定のテーマや課題に関心を有する様々な主体が地域を越えて参加し、相互の学び合いや実践活動を通して各主体の活動の向上を図るとともに、得られた知見を活かし同様の取り組みを全国に広めていくことを目的とします。

＜プロジェクトの進め方＞

- 全国8カ所の地方ESD活動支援センターが、地域の課題や各センターの強みを考慮してテーマを設定し、プロジェクトを運営します。
- テーマ・目的に沿って、メンバー同士の勉強会やESD活動の企画・実践などを行います。
- 2021年12月に開催される全国フォーラムにおいて結果報告を行い、得られた知見を共有します。

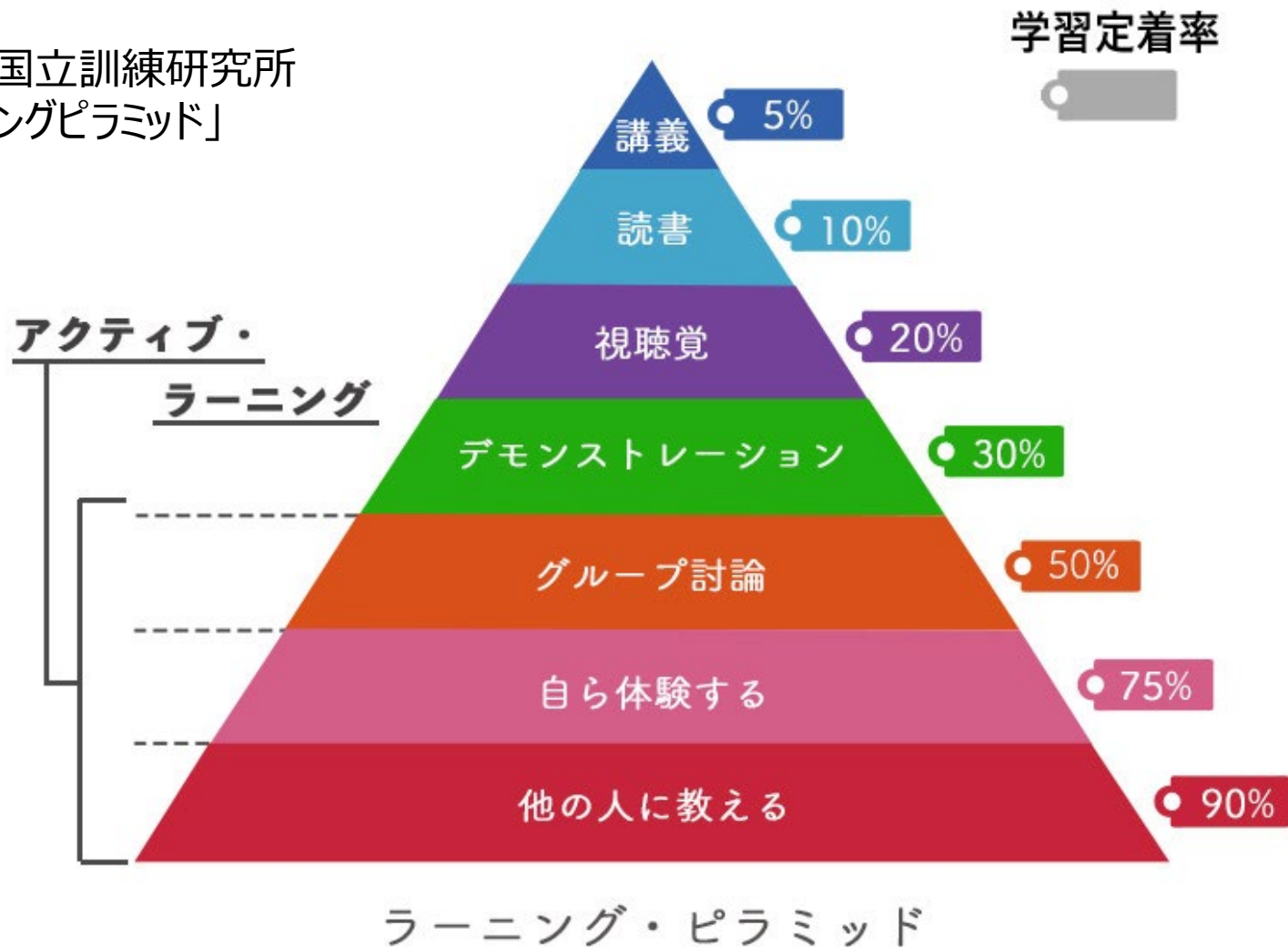
ESD for 2030学び合いプロジェクト 関東ESDセンターのテーマ

自然**体験**を通じて、
生活に関わるSDGsを学ぶ



「体験」はESDの重要な要素

アメリカ国立訓練研究所
「ラーニングピラミッド」



出典：E キャリア教育ラボ

学び合いプロジェクトで伝えたい内容



命をつなぐ

食

畑の体験

農

使い切り・食べ切り

「消費行動の変化」

「コンポストの実践」

「家庭菜園づくり」

行動の変化を促す

学び合いプロジェクトで伝えたい内容 食べ物で、SDGsに貢献！



生産的で持続可能な農業

➡ **持続可能な農業**



飢餓が発生する一方、先進国は大量の食品を捨てている。

➡ **食品ロス、有機物廃棄を減らそう**

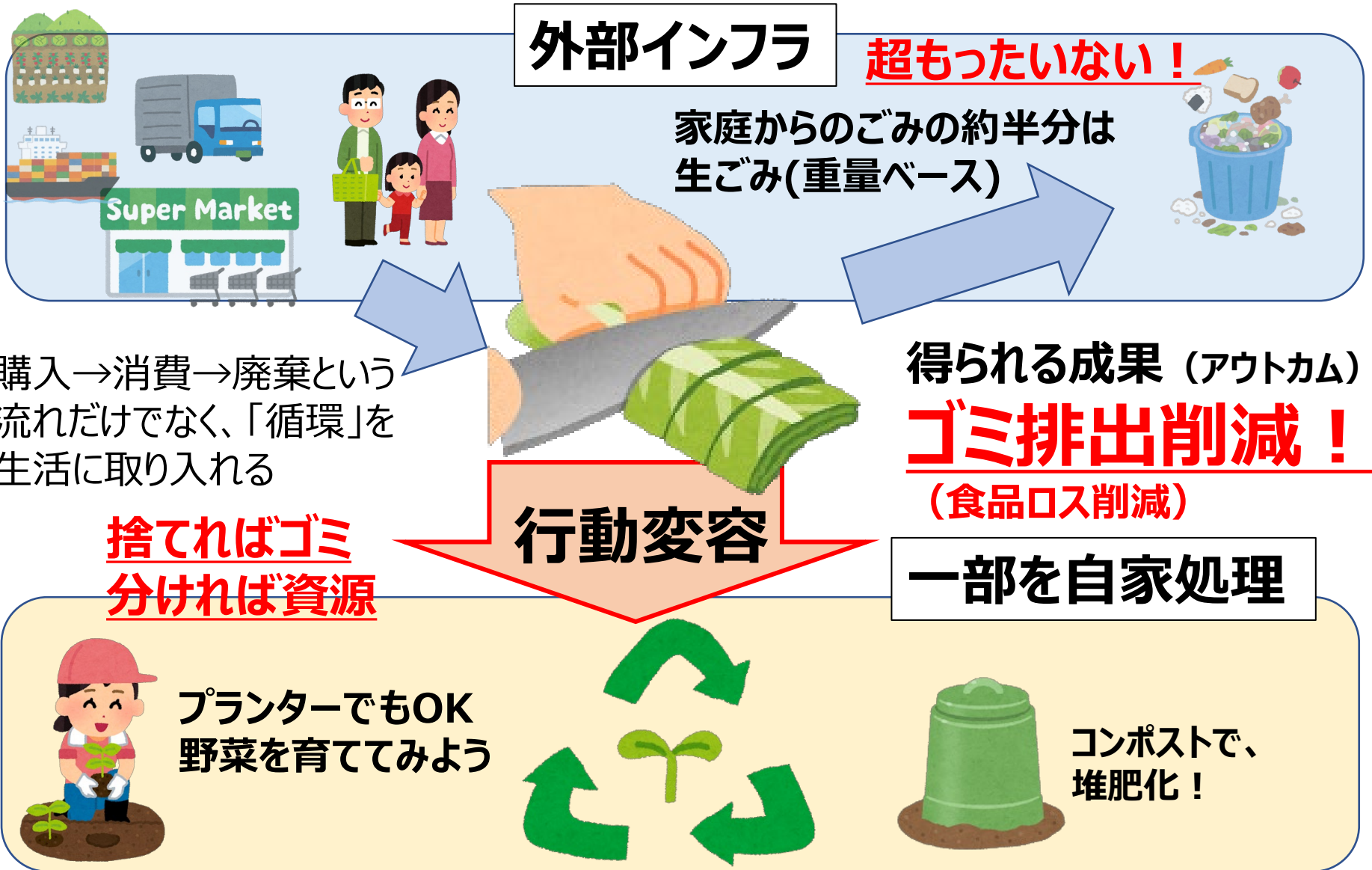


日本の食料自給率は約40%。その輸送のために、多くのCO2を排出されている。

➡ **フードマイレージ削減**

- 地産地消（フードマイレージ削減）を進めて、カラダにも環境にも良い暮らし！
- プランターでも良いので、植物を育て、食糧生産に参加してみよう。
- コンポストを作って、有機物を無駄にしないようにしよう

学び合いプロジェクトで目指す成果



ESD for 2030学び合いプロジェクト 関東ESDセンターの取り組み内容

「自然体験を通じて、生活に関わるSDGsを学ぶ」

実践フィールド（群馬県桐生市）
チャウス自然体験学校の畑



目標：
生ごみ排出削減

体験プログラム実施

畑での収穫・コンポストなどの体験など
・対象：親子（小学校低学年+親）
・時期：令和3年11月21日（日）

目標を達成するためには、
どのようなプログラムを実施
すれば良いのかを考えます。

=今回の内容

・オンライン研究会

実践プログラムについて

<対象>

親子（小学校低学年子供と母親を想定）



<実施場所>

群馬県桐生市の畑

令和3年11月21日（日）

希望される方は、ご参加可能です
(交通費等は自己負担をお願いします)

ESD for 2030学び合いプロジェクト 関東のスケジュール

プロジェクト・スケジュール



※基本的には、オンライン開催です